ユニバーサルデザインのまちづくり

バリアフリーを考える心

ビュー坊

足立区ユニバーサルデザイン

（小学校高学年用）

ビュー坊は足立区のビューティフル・ウインドウズ運動のイメージキャラクターです。
すべての人にとって美しく安全なユニバーサルデザインのまちづくりのために活動しています。

ユニバーサルデザインのまちってなんだろう？

それは

さまざまな人に、バリアがなく、みんなが“くらしやすい”まち

バリア ▶ “ふだんの生活(せいかつ)”のこまりごと

なぜ、みんなが
“くらしやすい”ことが
大事(だいじ)なの？

それは

まちには、
さまざまな人(ひと)が
住(す)んでいるから

だれでも こまりごとのない
くらしをしたいよね！

もくじ

1 “みんな”ってだれ？

2 バリアをなくす工夫（くふう）！

3 バリアはどこにある？

4 バリアフリーを考（かんが）える心（こころ）

1 “みんな”ってだれ？

“みんな” とは？

- おなかに赤ちゃんのいる人
- ベビーカーを使っている人
- 子ども　あなた
- お年より
- 病気やケガをしている人
- 見えない人、見えにくい人
- 聞こえない人、聞こえにくい人
- 車いすを使っている人
- つえを使っている人
- 外国の人
- 見ただけでは こまっていることがわからない人

車いすを使っている人は“まち”で どんな“くらし”をしていますか？

バスでの移動の様子

お買い物の様子

車いすを使っている人は“まち”でどんな“くらし”をしていますか？

※実際は映像での紹介となります。

見えない人、見えにくい人は、どうやって出かけていますか？

白いつえを使ってお出かけ

盲導犬を使ってお出かけ

写真提供：公益財団法人日本補助犬協会

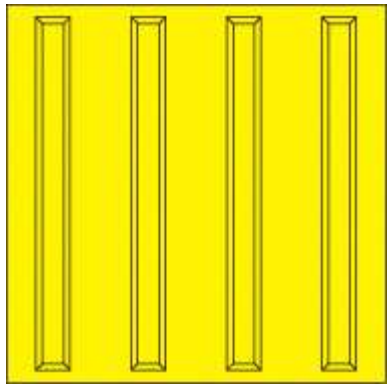
見(み)えない人(ひと)、見(み)えにくい人(ひと)は、どうやって出(で)かけていますか？

※実際は映像での紹介となります。

知(し)って
いますか？

点字(てんじ)ブロック（視覚障害者誘導用(しかくしょうがいしゃゆうどうよう)ブロック）

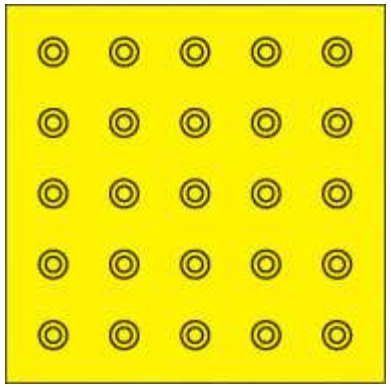
線(せん)のブロック



歩(あるく)く方向(ほうこう)を
伝(つた)える
ブロックです

駅(えき)や建物(たてもの)に、案内(あんない)します

点(てん)のブロック



止(と)まって安全(あんぜん)を
確認(かくにん)したり、
方向(ほうこう)を変(か)える所(ところ)に
あるブロックです

交差点(こうさてん)や階段(かいだん)の上下(じょうげ)にあります

聞こえない人、聞こえにくい人は、どうやって話しますか？

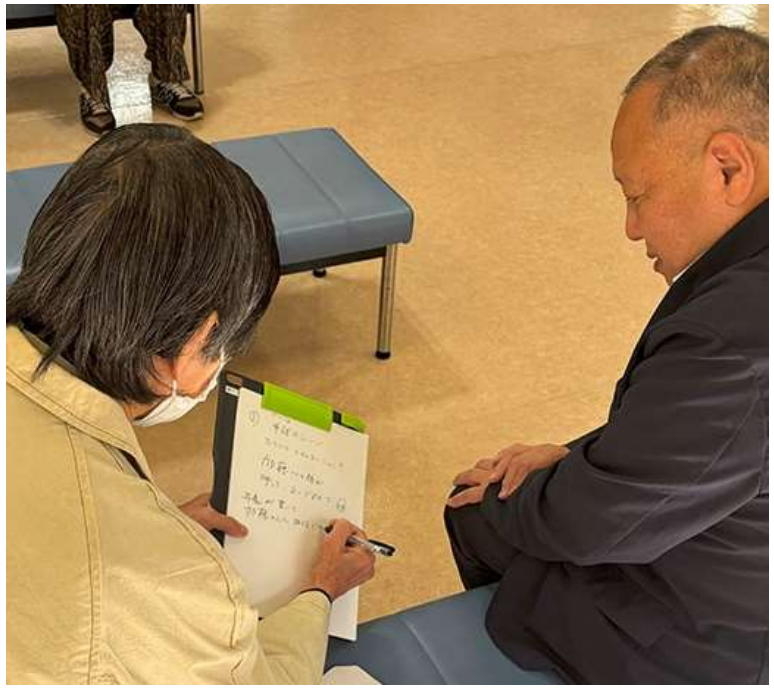
手の形や体の動き、顔の表情も使って、感情をゆたかに表現できる「手話」によって話し合うことができます。

聞こえない人、聞こえにくい人は、どうやって話しますか？

※実際は映像での紹介となります。

書(か)いて会話(かいわ)する方法(ほうほう)もあります

「手話(しゅわ)」を使(つか)わず、
文字(もじ)を書(か)いて会話(かいわ)する
人(ひと)もいます。
これを「筆談(ひつだん)」といいます。



見(み)ただけでは、こまっていることがわからない人(ひと)もいます

階段(かいだん)の下(した)で立(た)ち止(と)まって、
こまっていそうな人(ひと)に会(あ)いました。
どうしたのでしょうか？

階段(かいだん)を上(のぼ)れずにこまっているようなので、エレベーターの場所(ばしょ)を伝(つた)えました

※実際は映像での紹介となります。

階段(かいだん)を上(のぼ)れずにこまっているようなので、エレベーターの場所(ばしょ)を伝(つた)えました

見(み)ただけではこまっていることがわからない人(ひと)もいます。

では

みなさんの
身(み)のまわりの
バリアをなくすことを
考(かんが)えてみましょう！

2 バリアをなくす工夫（くふう）

バリアをなくすためには、
２つの方法（ほうほう）があります

１つ目は、バリアフリーです

バリアフリー とは

だれかにとって
バリアになっているものを
取りのぞいて解決すること

- 例えば、段差の所にスロープをつけて、車いすの人でも通れるようにすること

２つ目は、ユニバーサルデザインです

ユニバーサルデザイン とは

だれかにとってバリアになるもの
をはじめから作らず
使いやすく、くらしやすくすること

- 例えば、階段の横にはじめからエレベーターをつけて、車いすの人でも
ほかの階に行けるようにすること

みなさんの通(かよ)う小学校(しょうがっこう)はみんなが使(つか)いやすいですか？

学校(がっこう)にある、みんなが使(つか)いやすいものを思(おも)い出(だ)してみましょう！

ねんせい
１年生でも

つか　くふう
“使いやすい工夫”がされていると

おも
思うものはありますか？

それでは

“どんな工夫(くふう)”があるか

みなさんと見(み)てみましょう

工夫 1

手洗いの高さ

〈小学校の例〉

使いやすい高さが選べます

〈駅の例〉

子どもと大人が一緒に使えます

工夫(くふう)2

段差(だんさ)（小学校(しょうがっこう)）

段差(だんさ)があると先(さき)に進(すす)めない人(ひと)がいるため、スロープで上(のぼ)れるようにしています。

はじめから段差(だんさ)がなければこまる人(ひと)はいません。

工夫(くふう)2　段差(だんさ)（まちの中(なか)）

はじめから段差(だんさ)がなければ、車(くるま)いすでもこまりません。

だれかにお願(ねが)いしなくてもお店(みせ)に入れます。

工夫 3

階段（新しい小学校）

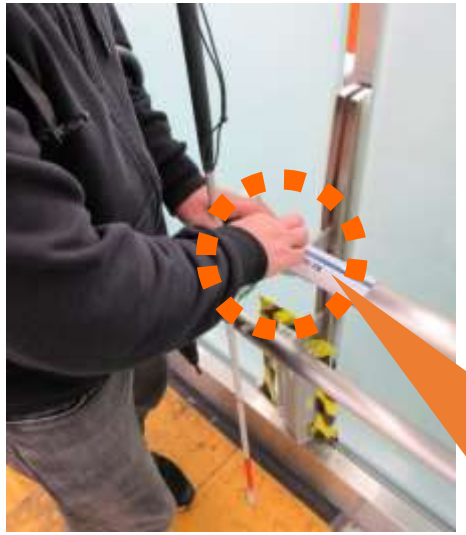
階段の下に
点字ブロック

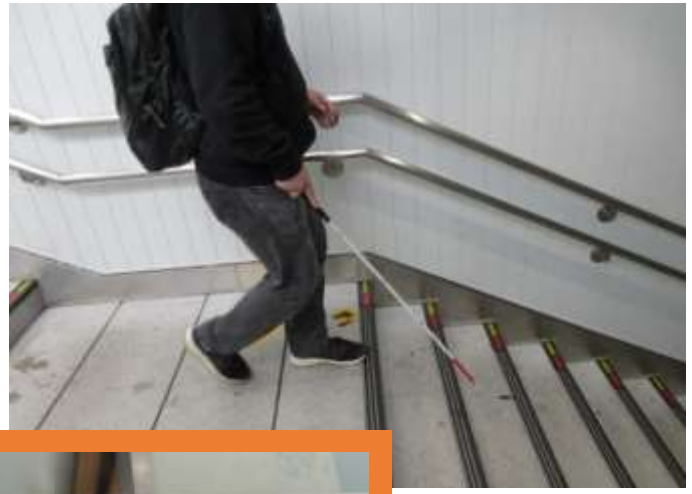
階段の先は
わかりやすい色

高さのちがう
２段の手すり

階段の上に点字ブロック

工夫 3　階段（駅）





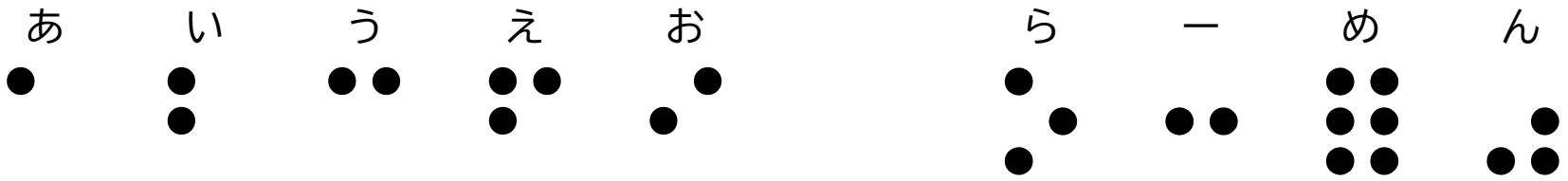
点字シート

見えない人が使いやすいように、
手すりに階段の行き先を、
点字と印刷の文字で書いてあります。

知(し)って
いますか？

点字(てんじ)

点字(てんじ)は指先(ゆびさき)を使(つか)って読(よ)む文字(もじ)です。
６つの点(てん)の組(く)み合(あ)わせで、
さわって わかるように盛(も)り上(あ)がっています。



工夫（くふう） 4

トイレ（小学校）（しょうがっこう）

小学校（しょうがっこう）にも車いす（くるま）で使（つか）えるバリアフリートイレがあります。

工夫4　トイレ（駅）

車いすを使っている人やベビーカーといっしょの人など、広いトイレが必要な人のためのバリアフリートイレです。

工夫（くふう） 4

トイレ（駅（えき））

※実際は映像での紹介となります。

工夫5

横断歩道

横断歩道の真ん中にある突起（つぶつぶ）を「エスコートゾーン」といいます。

突起（つぶつぶ）をふみながら歩くと、まっすぐに歩けます。

工夫（くふう） 5

横断歩道（おうだんほどう）

※実際は映像での紹介となります。

工夫6 駅の上り下り・ホーム

自分の高さに合ったボタン

上り下り用に、階段だけでなくエレベーター、エスカレーターを設置

ホームドアや、車いすの人が乗り降りの時に使うわたり板などがあります。

学校(がっこう)の中(なか)にも、
まちの中(なか)にも、
いろいろな工夫(くふう)
がありましたね

3 バリアはどこにある？

今度(こんど)は

みなさんのまちの

バリアを一緒(いっしょ)に

探(さが)しましょう！

バリア（こまること）
はどこにありますか？

もんだい
問題

お店の人は、このあと
どうしたと思いますか？

問題（もんだい）

お店（みせ）の人（ひと）は、このあと
どうしたと思（おも）いますか？

例えば—①

歩いて階段が上れないので、
車いすごと持ち上げて
「お手伝い」しようと
しました。

電動車いすは
200kgぐらいあり
むりでした

考えてみよう

●お店の人の気持ち

車いすの人はお手伝いが必要
なので、親切にしてあげたい。

●車いすの人の気持ち

階段がなければ自分で
入れるのに…

例えば―②

折りたたみのスロープを
お店の人が持ってきました。

考えてみよう

● お店の人の気持ち

車いすの人が来た時に
バリアフリーで入れるので、
役に立ちました。

● 車いすの人の気持ち

よかった！折りたたみスロープ
のおかげでお店に入れたよ。

例えば—③

車いすの人に買いたいものを聞いて、
店員さんがかわりに買ってきました。

考えてみよう

● お店の人の気持ち

お客さまのほしいパンを
買ってもらえて、よかった。

● 車いすの人の気持ち

やさしくしてくれて助かった
けど、人気のお店のテラスで
食べてみたかったな…

みなさんも「相手の気持ち」を聞いて、考えてみてください

● 車いすの人の気持ち

いつも人にお願いすることになる。
いやな顔をする人もいるので、出かけたくない。

自分の好きなときにしたいことができたらもっといいのにな。

ほかの人と同じように、出かけたい。

もし、お店(みせ)をつくる前(まえ)に

「車(くるま)いすの人(ひと)が来(く)るかも」

と考(かんが)えたら、

どうしたと思(おも)いますか？

スロープをつくる

階段(かいだん)がバリアになるため、
はじめからスロープをつくりました。

バリアフリー

階段(かいだん)があってもスロープを
作(つく)って、上(あ)がれるようにします。

↓

お店(みせ)に入(はい)れるので
「バリアフリー」になっています。

● こんなことも

スロープを上(のぼ)るには力(ちから)が必要(ひつよう)です。

はじめから階段をつくらない

はじめから段差や階段を作らなければ、
だれでもお店に入れます。

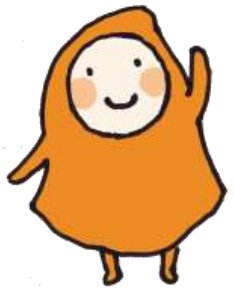
ユニバーサルデザイン

はじめから階段（バリア）をつくりません。

↓

ほかの人と同じ出入口でお店に入れて、車いすの人を区別しないので、「ユニバーサルデザイン」になっています。

バリアフリーは、こまっている人にとって
とても役に立つ取り組みです。



だけど、はじめから どんな人にも便利で
バリアのないユニバーサルデザインは
まちづくりの大切な考え方なんだよ！

ユニバーサルデザインの工夫(くふう)が

あると

↓

こまらない

ないと

↓

こまる

ユニバーサルデザインは、

みんながこまってしまう

バリアをはじめから作(つく)らないことです。

そうすれば、障(しょう)がいの“ある”“なし”に

関係(かんけい)なく誰(だれ)もがくらしやすくなります！

4 バリアフリーを考える心

「バリアフリーを考える心」とは

こまっている人の話を聞いて

まわりにどんなバリアが
あるかに気づいて、
バリアを取りのぞくことを
考えることです。

うしろから声をかけても、気づいてもらえない時

うしろから声をかけても、気づいてもらえない時

※実際は映像での紹介となります。

うしろから声をかけても、気づいてもらえない時

「もしかしたら聞こえない人かも」と思い、顔が見えるようにして、伝えます。

見(み)えない人(ひと)が
横断歩道(おうだんほどう)をわたれないようです

青(あお)になったのに、
なんで
わたらないんだろう？

見(み)えない人(ひと)が
横断歩道(おうだんほどう)をわたれないようです

※実際は映像での紹介となります。

見えない人が横断歩道をわたれないようです

気づいたら声をかけて、信号の色を伝えます。

まず

バリアに気づく

ユニバーサルデザインの
まちは、
こまってる人や、
バリアに気づくことから
始まります。

そのためには

バリアを感じている人を知る

話を聞いて、どうすればよいかわかりあうことが大切です。

そして

もっとも大きなバリアは

「心のバリア」

差別や無関心をなくし

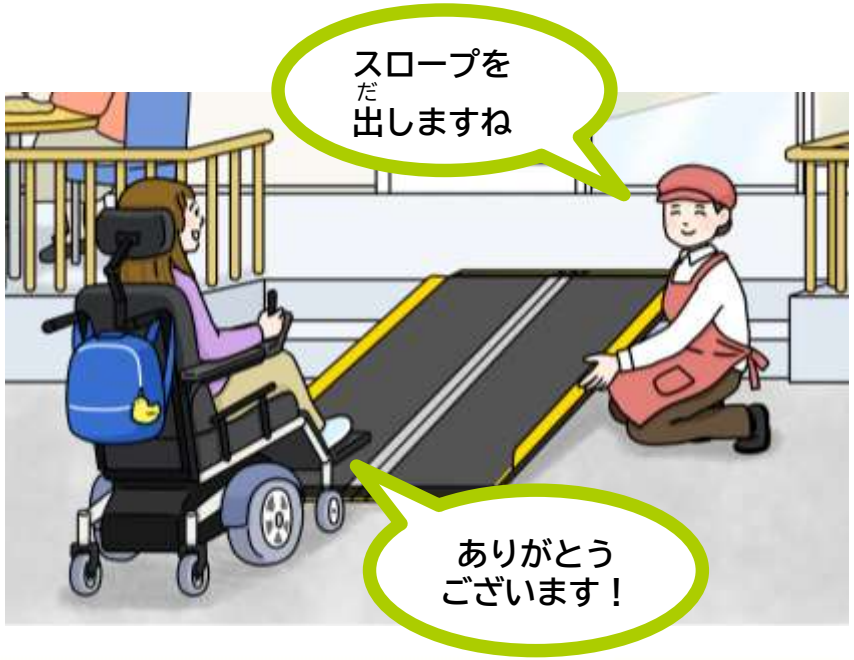
こまっている人を無視しないこと。

知らん顔する人の態度が

心のバリアを作ってしまいます

「バリアフリーを考える心」が大切

障がいを生むバリアをなくし
ユニバーサルデザインの
学校やまちのことを考えて
行動することが大切です。



まとめ

ユニバーサルデザインのまちとは？

みんなが、くらしやすいこと

「バリアフリーを考える心（かんがこころ）」を
持（も）って、私（わたし）たちにできる
行動（こうどう）をしましょう。